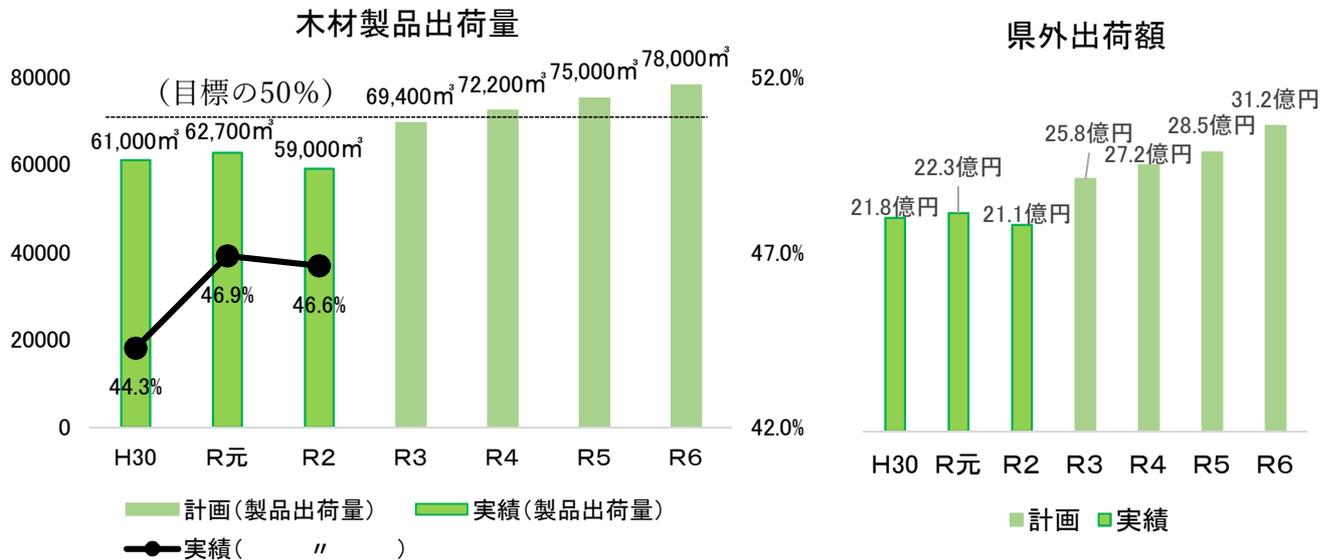


「高品質・高付加価値木材製品の出荷拡大」の進捗状況

林業課

○令和2年度末の進捗状況

- (1) コロナ禍において、住宅等消費の落ち込みから前年に比べ木材製品の生産量は減少した。県外への出荷額は、前年を下回る21.1億円(見込み)となったが、出荷割合は46.6%(見込み)と横ばい
- (2) 県産木材を積極的に使用する工務店112社を認定



○主な取り組み

- (1) 大阪市で14社が参画し常設展示を開始



県外出荷に取り組む県内製材工場等14社が、令和2年8月からアジア太平洋トレードセンターIHP C内ショールーム「WOOD MEETS」(大阪市住之江区南港北2-1-10)で常設展示を開始。

この展示をきっかけに県外企業との契約も複数まとまっており、コロナ禍において、新たな販路開拓手法として成果を上げている。

- (2) 8製材工場が木材製品の高品質・高付加価値化に向けた施設を整備
- (3) 県外での販路開拓を視野に、10製材工場が内装材など競争力のある14商品を開発